

令和 2年度 施策評価シート（令和元年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 01 調和の取れた市域の形成
主管課： 都市計画課
関係課： 企画課、生活環境課、交通防災課、建設課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市域	秩序ある市域が形成され、調和のとれた発展が続くまちをつくる。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

調和のとれた土地利用がされていると思う市民の割合（％）都市計画課					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
61.50	67.20	64.10	65.10		62.00
向上指針	上がると良い	（状況）前年度より3.1ポイント減少していますが、目標値は達成しています。 （原因）土地区画整理事業により計画的な街づくりを進めてきているため、成果は比較的安定していると考えられます。			
対前年度	低下				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	30,822	27,923	29,106	322,757	46,616
人件費	41,174	48,146	70,334	0	0
トータルコスト	71,996	76,069	99,440	322,757	46,616

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
01 計画的な土地利用	横ば	横ば				21,012	17,021	23,471	302,454	25,109
02 適切な規制と誘導	横ば					111	49	209	118	195
03 空き家対策の推進	維持	維持				7,087	47	46	117	117
99 施策の総合推進						2,612	10,806	5,380	20,068	21,195

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

持続可能なまちづくりを目指し、令和2年3月に、立地適正化計画を策定し都市計画マスタープランの見直しを実施しました。 また、新守谷駅周辺地区の土地利用については、地権者による発起人会を立ち上げて土地利用の検証を重ね、地権者の合意形成を図りました。 今後は、（仮称）新守谷駅周辺土地区画整理事業による土地利用を図るため、準備会を発足するなど更なる合意形成を進める必要があります。みずき野地内商業施設跡地利活用は、計画を再考し官民連携の事業を進める必要があります。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

引続き、立地適正化計画について令和2年3月の策定に向け取組を行い、都市計画マスタープランの見直しを実施します。 また新守谷駅周辺地区の土地利用について、まちづくりの勉強会等を実施し、土地利用についての合意形成を進めていきます。 守谷駅東口市有地整備事業及びみずき野地内商業施設跡地利活用事業については、官民連携による事業を推進してきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

次年度の方向性

策定した立地適正化計画や都市計画マスタープランにより、調和のとれた計画的なまちづくりを誘導していきます。 新守谷駅周辺地区については、準備会を発足し業務代行予定者の選定手続きを実施するとともに、事業認可取得に向けた調整、協議を進めていきます。また、大野地区については、組合土地区画整理事業の推進を図るため、地権者及び関係機関協議を進めていきます。 守谷駅東口市有地利活用事業については、優先交渉権者と協議を進め早期整備を目指します。 みずき野地内商業施設跡地利活用は、官民連携による事業を推進していきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減